



インスピレーションになる

NPO法人 三春町国際交流協会  
国際交流館 ライスレイクの家

例会日 ■平成 30 年 8 月 23 日(木) 会場 ■割烹八文字屋 開会点鐘 ■12:30 2018-19 年度 VOL 07

## 三春 RC テーマ:「、繋げようロータリー、繋がろうロータリー」

— 50年続いたロータリーが100年続きますように —

## Contents:会 員 卓 話

【例 会】 司会:三條安國 SAA	5.幹事報告
1.開会点鐘	6.各委員会報告
2.ロータリーソング「奉仕の理想」	7.友の見どころ 担当:渡辺利春さん
3.四つのテストの唱和	8.会員卓話 佐久間英一さん 三瓶一壽さん
4.会長挨拶	9.閉会点鐘

## 会 長 挨 拶 (第 49 代会長 石川和広)



皆様今日は 先週盆踊りあいにくの雨模様でしたが参加頂きました皆様には厚く御礼申し上げます。団扇も配っていただきロータリーのイメージ向上に多少は貢献したかと思えます。

昨日は田村 J C の総会が八文字屋であり出席してきました。柳沼かおり現理事長が8か月の総括をしましたが愛姫コンテスト日程きつかったけれど話を持ってきてくれたのでやって良かったといっておられました。今年度新会員が増えて22人から29人になったそうでなかなか盛況でした。総会も懇親会もほぼ全員出席でした。次年度理事長に鈴木浩彰

さんが選出されましたが鈴木さんはさんのはるの社長でまたカネサン書店隣にオープンした焼き肉店のオーナーでもあります。懇親会には玄葉光一郎さんも来てました。白岩幹事もOBなので一緒に出席出来たらよかったです。OBが5人ぐらいで少なめでした。その代りと言ってはなんですが、現会員は半分が三春なので38歳、39歳の方もおり入会を勧めてきました。高野さんの講演がある例会に出席できそうな人に出てもらって一緒に話を聞いてもらおうと思いますがどうでしょうか？

懇親会の時に監事講評で宗像俊樹さんの後にメに指名されましたので愛姫コンテスト増子さんが大変感激したことや会員増強が素晴らしいこと、ロータリーへ入会してもらいた

いことなどをお願いした後スティブジョブスが「知られていないことは存在しないことと同じだ」と言っていたことを引用して同じかどうかはわからないが田村JCも三春RCも公共イメージの向上の努力がこれからもつ

ともっと必要なので頑張らましようといってきました。実績を知ってもらうために活動を広報することは大事だとあらためて再認識をしました。



## 幹事報告

### ◇白岩 良子(第49代)

1. 8月15日盆踊りに参加の皆様大雨の中ありがとうございました。
2. 公共イメージ・ITチーム合同セミナー  
9/1(土) 会長・幹事出席
3. 奉仕プロジェクトグループ合同セミナー  
9/2(日) 三條さん・福原さん出席
4. 青少年奉仕委員会セミナー 9/15(土)
5. 地区大会の申し込み 11/24(土)  
地区大会記念ゴルフコンペ 10/19(金) 福原さん
6. 県中分区合同例会 9/26(水) 本宮クラブ担当 アサヒビール園

※ 8月30日(木)の例会は、会員増強・拡大月間プログラムです。  
担当委員会は会員委員会です。



## 各委員会報告

### ◇三條安國社会奉仕副委員長

猪苗代湖水草回収ボランティアについて

開催日：平成30年10月7日(日) 松橋浜

時間：午前10時～午前11:45分

小雨決行・大雨の場合は中止となります。



## 友の見どころ (8月号)

◇担当：渡辺利春さん

### 【横組み】

#### P3 RI 会長メッセージ「ロータリアンの皆さま」

- ・バリー・ラシン RI 会長の、ロータリーの未来のビジョンについて、私たちが取り組むべき事がなんであるか、ということが良く分かります。



#### P7-22 会員増強の可能性

- ・クラブ運営に柔軟性を取り入れ会員増強・維持を図り、クラブの活性化に成功している海外事例の紹介。また、女性会員に聞く会員増強についての意見が載っており、大変参考になります。

### 【縦組み】

#### P4~8 変化をチャンスに (アサヒグループホールディングス(株)代表取締役会長 泉谷直木氏)

- ・厳しい経済環境のなかでの経営改革への取り組み。10のチャレンジポイントと10のチェックポイントの実践。
- ・変化をチャンスとして捉え、心豊かで幸せな暮らしを築いていこうという思いは企業もロータリーも同じです!

#### P13~ 友愛の広場

##### P13 人とのつながりで知る心の裕福さ 宮古東 山崎秀男氏

- ・被災を通して、ロータリアンであることへの感謝。  
ロータリー仲間であることが心の裕福さを知るということを改めて実感。

##### P18 サプリメントの利用法 鳥取塩宏

- ・サプリメントはあくまで補助食品です。上手に活用し法しよう。  
安易に頼らず、日頃からバランスの取れた食生活や適切な運動など自分の生活習慣をチェックし、改善に心掛けることが大切。

##### P20~卓話の泉 P20 囲碁と A1 日本棋院久保秀夫氏

- ・世界チャンピオンの韓国棋士とコンピューターの5番勝負。  
コンピューター(人工知能・AI)の圧勝!
- ・囲碁は人間対人間のゲーム、AIに習うべきものは習い、上手にAIを活用していくことが良いでしょう。

## 会員卓話

◇佐久間英一さん

### 「人に支え育てられての感謝の人生」



佐久間英一

住所 三春町字八幡町 41 番地  
職業 自動車販売・整備・保険販売  
本社 三春町字八幡町 41  
本店 三春町山田字越井戸 7-2  
郡山店 郡山市横塚 2-23-5

1941年（昭和16年3月6日生まれ）（旧満州国大連）  
1953年（昭和28年）町立三春小学校卒、31年三春中学校卒  
1957年（昭和31年）県立石城公共職業訓練所自動車課終了  
1956年（昭和32年）福島マツダ販売(株)入社-36年退社  
1957年（昭和33年）県立安積第二高等学校入学・37年卒  
1961年（昭和36年）三春小型自動車商会入社(昭和30年創業父親経営)  
1962年（昭和37年）有限会社三春自動車工業に改組社長就任  
1964年（昭和39年）八幡町工場新築  
1969年（昭和44年）民間車検指定取得  
1975年（昭和50年）株式会社に改組・現三奉本店工場・ショールーム新築移転  
1996年（平成8年）郡山美術館通り店ショールーム・工場開設  
2007年（平成19年）三春自動車工業株式会社社長退任会長就任(佐久間孝展社長就任)

1963年（昭和38年）三春町消防団本部機関部入団。昭和61年）常備消防開始に伴い団(23年.)  
1975年（昭和50年）三春ロータリークラブ入会。1994会長・2016ガバナー  
2004年（平成16年）安全運転管理三春事業主会会長就任  
2012年 田村事業主会会長就任。  
2016年 ロータリーガバナー就任予定につき退任

好きな言葉：花は色、人は心。

支えにしている言葉：仁 義 礼 智 信（孔子、論語）

趣味：ゴルフ、カラオケ、読書

1. **ガバナーを経験したからこそその感謝・感動・想い。**

2. **人生の振り返り**

- ・小、中時代 紫雲寺の境内・山・木・道路が子供達の遊び場。
- ・いまあらためて家族の絆・愛情で生きてきた有り難さ。
- ・仕事や先輩に恵まれて仕事を覚えた、国の所得倍増・高度成長論時代。
- ・地域(特に隣組)環境汚染(騒音、路上駐車)の元凶だった我社の仕事倍増時代。
- ・冒険だった現本社工場とショールームの新設(土地借用とオイルショック)
- ・天国も地獄も味わった郡山進出での25年
- ・常に前向き経営で社員教育・設備の充実や販売進出
- ・変革の時代, 誇れる真の自動車サービス業をめざして。
- ・ガンバレ・ベアーズ魂のチームプレーで顧客・社員満足経営。
- ・みんな〇〇ちゃん呼び、裸のつきあい、人生の支え、消防仲間の15人会
- ・奉仕の理想をめざす、出会いと人生道場のロータリークラブに入会。
- ・無垢と無垢のふれあい、通学児童の交通安全に関われる幸せ。

## 感謝・感動（感動は人間を動かし、出会いは人間を変えて行く）

1. 会津分区 IM から
2. 滝根 RC 藤本獣医の卓話から
3. 核の闇に光を ICAN ノーベル平和賞の受賞・受賞式言葉から
4. 自身が被害者なのに見ている人を笑顔にする、フラガールの活躍
5. 八潮 RC 瀬田会長との対話から
6. ロータリーの楽しい思い出、  
ニース・モナコの国際大会の参加  
ロータリー野球大会(甲子園)参加

### 会員卓話

#### ◇三瓶一壽さん

職業奉仕委員会を受けて  
職業奉仕について考えること。



皆さん、こんにちは。私は職業分野「サービス業、建築設計」です。  
私は RC に在籍して以来、「職業奉仕は難しい。」と言う言葉を諸先輩方から機会あるごとに聞いておりましたので、そうなのか、職業奉仕は難しい。まるで雲をつかむような話だと、頭の片隅に刷り込まれてきたように感じておりました。そしたら今年度に私とその難しい職業奉仕を担当する羽目になりました。

でも皆さん、職業奉仕は難しいという一方で、「職業奉仕はロータリーの根幹である。」という言い方をよく耳にされていると思います。・・・と言うことは、我々、少なくとも私は、ロータリーの根幹であるはずの「職業奉仕」の概念を曖昧にしたまま、入会依頼約 20 年もの間、ロータリアンであることを世間に対して公言してきたこととなります。なんともお粗末、恥ずかしい話です。こんな私がロータリアンであって良いのか。ロータリーを即刻辞めるべきと言う結論に至りました。皆さん、長々とお世話になりました。

本日、この時をもって私は三春ロータリーを、今お話した理由から退会させていただきます。

・・・と言いたいところですが、そう言うことには行かないようなのでこのまま続けて、本年は特に、拝命した職業奉仕委で職業奉仕の事をもっと勉強し、皆さんにお伝えしてゆきたいと思います。

さて私は、今年 6 月 24 日に開催されました、喜多方ロータリークラブの佐原 PG. の「R I 超私の奉仕賞受賞記念祝賀会」に出席させていただきました。この祝賀会には三春から佐久間英一 PG. も出席されておりましたが、この R I 超私の奉仕賞受賞の理由が報告されましたことによりますと、佐原先生は医師という職業をもって長い間社会に貢献してきた。特に今般の東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故による放射能環境汚染により、避難を余儀なくされた浪江や南相馬の病院に入院されていた多くの患者さんを、当時ご自分の病院のキャパシティを超えると職員から反対されたに

もかわらず、「今、この緊急事態にそんなことを言っていられないだろう。」と引き受けられて、多くの方々の命を救われた、等のことが受賞理由だったそうです。この賞を受賞されるロータリアンは数が少なく、大変名誉なことだそうです。

この職業を通じた社会奉仕という意味では皆さんも様々な機会に多くの経験をされていると思いますが、私も今般の東日本大震災・福島第一原子力発電所事故においては様々な奉仕活動の機会を経験しました。我々建築家は自己の職能をもって、常に社会に貢献することを行わなければならないとの信念から、過去に阪神淡路大震災、新潟県中越前大震災、岩手宮城内陸地震等々、そして今般の東日本大震災による、各地の被災状況調査「応急危険度判定・被災建物の危険度判定」や復興に向けた様々な被災地復興プログラムへの参加活動です。

いずれも現場は悲惨でしたが、特に東日本大震災の地元を含めた各地の状態は筆舌に尽くしがたいものがあります。

我々は、発災直後に特に居住地に近い郡山市、須賀川市を中心とした地域の応急危険度判定のために、放射能による環境汚染の進む中、雨の降る中、調査に出かけました。今特に福島県では何が起きているのかの情報収集のために郡山の仲間の事務所に集まりました。そして夜通しの緊急会議。

多くの避難者が故郷を追われている現状を打開するために、近年学校施設や町村統廃合で空いている施設が多く存在することから、これらの施設を避難者の仮設建物として利用できないかの検討をしました。

応急仮設住宅の建設が始まる中、被災規模の広範で甚大なことから従来の方法プレハブ協会だけの対応では追いつかない現状。我々は当時過度な風評被害等で当時流通から完全に外されてしまった県産木材を活用して、且つ大手プレハブ業者には対応不可能な、中山間地域における応急仮設住宅を地元も職人集団により供給しようと福島県に働きかけ、諸般の理由から許可された。(県内約 11,132 戸、内 6,000 戸木造)

ここで我々はこの応急仮設住宅建設に対してサポートすることを、表に出ずに完全な黒子としての活動を行った。つまり交通費程度、手弁当でひたすら建設業者による施工の為に、建物設計、特に様々な敷地の為の配置計画を不眠不休で行った。当時郡山の日大工学部の学生(院生)も借り出してのサポート活動を行った。

建設がある程度進むと、これらの住宅の住環境調査及びその団地のコミュニティーに関する調査等を行い今後の為の資料作りを行った。

それから復興住宅の建設への協力、参加を行った。ここでも我々は木造、木質化による居住者に対する住環境及びコミュニティーを重視したものを提案した。最近話題となっているCLT材を使用した復興公営住宅も建設された。

これらのことがあって、現在に至っております。

やや話の筋が飛んでしまいましたが、RIの職業奉仕が難しいといわれる所以は皆さんもそうですが、知識としては知っているが、これを実践し続けることが難しく、そのためにロータリアンは「入りにて学び」・「出でて実践」、つまり常に自分には職能を通じてどんな社会貢献ができるかを考え続けることが大事なのです。最後にロータリー奉仕活動の基本は「**Service Above Self**」 & 「**One Profits Most Who Serves Best.**」です。

有難うございました。

P S.

皆さん、これらのことに関してはP C等で「決議 23-34」と入力して検索してみてください。また「ロータリーの源流 by2680 地区 PDG 田中毅 氏」をご確認ください。この中に面白い文章、全くその通りだなあ、がありますのでここにご紹介します。

何か事があると決議 23-34 と言いながら、その第 4 条「奉仕するものは行動しなればならない。ロータリー哲学も単に主観的なものであってはならず、それを客観的に行動に表さなければならない。」を自ら証明していないことから明らかです。理屈をこねる会員は往々にしてこのような二重人格を持っていることが多いようです。

ロータリーの哲学は実践哲学であり、奉仕理念を奉仕活動の実践に移さなければ無意味であることを忘れてはなりません。

閉会点鐘



国際ロータリー第2530地区  
三春ロータリークラブ



			TEL	FAX	E-mail
例会場	割烹文字屋	三春町字大町 18-1	62-5757	62-3174	<a href="mailto:hashimoto@8monjiya.jp">hashimoto@8monjiya.jp</a>
事務所	〒963-7759	三春町八島台 5-3-9	62-2334	62-2334	<a href="mailto:remiharu@gmail.com">remiharu@gmail.com</a>
会長	石川 和広	三春町字中町 1-1	62-2630	62-2222	<a href="mailto:dr-kazu@joy.ocn.ne.jp">dr-kazu@joy.ocn.ne.jp</a>
幹事	白岩 良子	三春町字南町 55-3	62-6024	62-6034	<a href="mailto:yoshiko@fd-const.com">yoshiko@fd-const.com</a>
会報	渡邊 宏二	三春町字荒町 60	62-2410	62-2410	<a href="mailto:yamadai@orange.plala.or.jp">yamadai@orange.plala.or.jp</a>